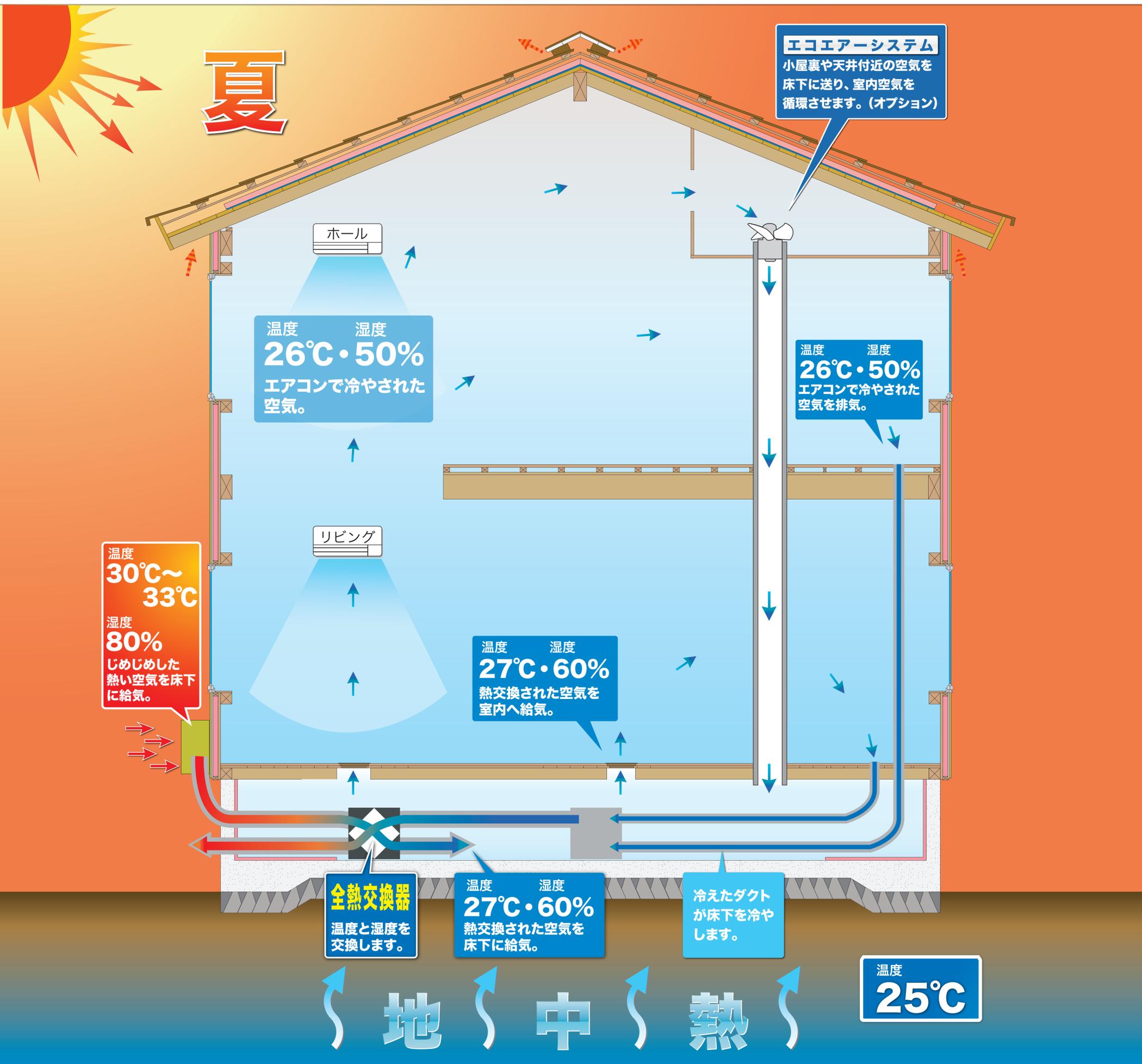
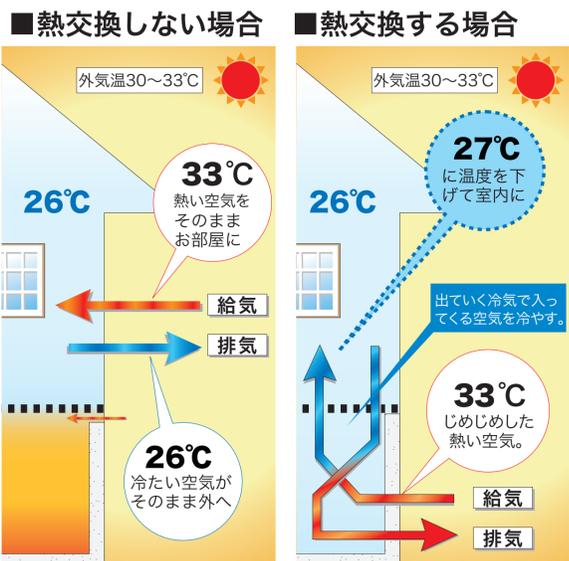


「澄家Eco」換気システム + 地中熱



冷房省エネルギー(熱交換)のメカニズム

澄家Ecoの『全熱交換器』で、熱い外気を各部屋の冷たい内気で、少々冷やし床下空間に給気します。なおかつ、地中熱(夏の床下は25°C前後のヒンヤリとした空間)が、ベタ基礎に伝わり、床下の冷やされた空気と混じり合ってから室内に給気します。



日本の夏(梅雨)は除湿が重要

- 気温26°C 湿度75%・・・蒸し暑い
- 気温26°C 湿度60%・・・過ごしやすく快適

空気中には湿度という目に見えないエネルギーがあります。同じ気温でも湿度が高いと蒸し暑さを感じ、低いと快適に過ごせます。

ハワイ(ホノルル) 8月 気温31°C 湿度58%

常夏のホノルルで快適に過ごせるのは、湿度が低くカラッとしているからです。世界的に見ても湿度の高い日本の夏では、湿気をいかに無駄なく排出し、また室内に取り入れないかが省エネのポイントになります。冷房の消費電力のほとんどは、除湿に使われています。澄家Ecoは、省エネ空調を実現するために、温度だけでなく湿度も交換しながら換気のできる『全熱交換型』の換気システムです。